

県内初！はだか麦粉パンが 学校給食に提供されました

県内産はだか麦粉100%で作られた「はだか麦粉パン」が6月11日(火)、愛媛県で初めて河辺地域を除く大洲市内の学校給食に提供されました。

はだか麦は大麦の一種で、脱穀すると簡単に表皮がはがれやすいことから、その名前がつけられました。はだか麦の生産量日本一は愛媛県であり、全国の収穫量のおよそ4割を占めています。また、はだか麦は玄米に比べ糖質、カルシウムを多く含み、食物繊維については白米の10倍以上だと言われています。



はだか麦は栄養面で魅力的な食材ですが、パンにすると生地が固くなってしまうという問題を抱えていました。しかし、県産業技術研究所による製造技術の開発により、柔らかいパンを作ることに成功しました。

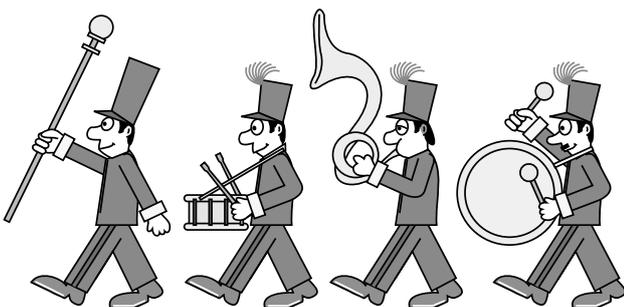
今回、市内(一部内子町)の製パン業者が約4200人分を用意し、各小中学校と幼稚園の給食に提供しました。配食された学校の子どもたちには「もちもちしておいしい」「香ばしい匂いがする」などと好評で、みんなおいしそうに食べていました。

「大洲芸術の森建設促進会」から 寄付をいただきました

大洲芸術の森建設促進会様より、大洲市の芸術環境整備のための資金として、7,840,819円を寄付していただきました。

この寄付金は、同会が平成2年から26回にわたり開催してきた、「おおず音楽祭」での募金活動などにより積み立てられたものです。

いただいた寄付金は、大洲市の芸術環境整備のために有効活用させていただきます。



春の叙勲



瑞宝双光章

関 久香 さん
(平野町平地)
学校歯科医

関さんは、長年にわたり学校保健業務にご尽力されたご功績により、このたび、瑞宝双光章を受章されました。



楽しめばそれでオッケー ～第34回肱川クロッケー大会～

毎年恒例の「肱川クロッケー大会」が、高砂運動場で開催されました。

この大会は、クロッケーを通じてお互いの親睦を図り、健康づくりと軽スポーツの普及を図るために行われています。今年は、昨年より3チーム多い15チーム(45人)が参加しました。

梅雨に入り天候が心配されていましたが、当日は晴天に恵まれ、参加したみなさんは元気よくプレーを楽しんでいました。



ホタル観賞と音楽の夕べ ～河辺ふるさとの宿ホタル祭り～

自然豊かな河辺の夏の風物詩、ホタル祭りが開催されました。

当日はギターやハーモニカなどの演奏からスタートし、その後、ホタルの生態や観賞のポイントについて講習会が行われました。辺りが薄暗くなった頃、沿道の竹灯りに先導され、観賞場所に着いた参加者は、時間を追うごとに増えていくホタルの美しい幻想的な光を、心行くまで楽しんでいました。



風にも負けず、泥にも負けず ～第19回どろんこミニバレー大会～

第19回どろんこミニバレー大会が、白滝公民館柴分館前の水田で開催されました。

当日は快晴であったものの風が強く、ボールは右へ左へと流されていました。また、選手たちは水田の泥に足をとられ思うようなプレーができず、悪戦苦闘していました。

どの試合も珍プレーや好プレーで盛り上がり、選手たちは泥だらけになりながらも、必死にボールを追いかけていました。



自然を満喫 ～川上地区幼稚園合同保育・川遊び～

肱川町内の幼稚園(中野・正山・大谷・予子林)と河辺幼稚園による合同保育が、鹿野川河原で実施されました。

当日は、21人の園児全員が元気よく自己紹介を行い、今回の川遊びで楽しみにしていることを発表しました。その後は、オタマジャクシなどの川の生き物を捕まえたり、水をかけ合ったりと、子どもたちは元気いっぱいにはしゃいでいました。

がんばる大洲企業



弊店は昭和45年に創業し、現在は5人の従業員で主に志ぐれの製造を行い、市内外の8施設で販売しています。

弊社では従来、販売する志ぐれは1種類だけでしたが、より多くのお客様に提供したいとの思いから、今では合計8種類の志ぐれを取り扱っています。その結果、幅広い年齢層のお客様に好評を得ることができ、年々リピーターも増えていきます。

新商品を開発するにあたっては、もち麦や柚子、梅、よもぎなどの原材料に大洲産を使用し、地産地消にも力を入れました。大洲産の原材料には良質なものが多く、商品を通してもっと大洲産の良さを広めたいと思っています。製造工程では、そのほとんどを

山栄堂

「真心を込めて良いものを提供する」



手作業で行うため大量生産はできません。しかし、機械で作られるものとは比べると、その出来栄えにはつきりと差が出ます。手間はかかりますが、真心を込めて作ったものには、お客様に必ず何か伝わるモノがあります。

販売競争が激化する中、商品の周知方法も一つの課題となっています。昨年の「大洲ええモンセレクション」では、弊店の商品を広く紹介できるいい機会となり、次につながる一歩になりました。

今後も、真心の込められた良質な商品をお客様に提供し、弊店にしか出せない味を、次の代へ引き継げるように頑張ります。

▽所在地 常磐町128・1
▽電話 ②45322

文化財



上須戒のモッコク
大洲市指定天然記念物
個人所有

上須戒ふれあい広場（旧大洲少年自然の家）の一角で、スギやヤブツバキ、アカメガシワなどが混生する場所にある本樹は、根回り4.4m、高さ約16m、樹齢約250年と推定されています。

通常モッコクの幹は、一本立ちの樹木ですが、本樹は根元より約2.5mの高さのところまで7つの幹に分かれています。これは、一度切られた根株から株立ちしたと考えられています。

広場の片隅に残された小さな茂みは、^{ちんじゅ}鎮守の森として地元で大切に守り継がれています。

（昭和63年12月21日指定）

野鳥



オオアカゲラ（大赤啄木鳥）
キツキ目キツキ科
大きさ28cm

^{しゅっせきし}出石寺などの標高の少し高い所に生息する、黒、白、赤色をしたヒヨドリくらいの大型のキツキの仲間です。個体数は少ないのですが、平地にも暮らすアオゲラとうまくすみ分けをしています。「キョッ、キョッ」と鳴いて「カララララ……」と木を突き、音を出しますが、アオゲラより低音に聞こえます。

キツキはいつも止まって、木を突いているように思われがちですが、普段は地面に降りて、倒木のアリなどを食べています。同じ餌を食べる仲間がいても、うまく競合しないように違いを持たせたりして、子孫を残していく姿を見ていると、自然界ほど奥が深く、我々人類の大先輩のような気がしてなりません。

NPO法人かわうそ復活プロジェクト⑧

大洲の食育

「親子で考えよう！」
リクエスト献立



河辺中学校では、生徒の食の自己管理能力を高めるために、3年生が保護者と協力してリクエスト献立を考えています。

まず学級活動で、献立の立て方や食材の選び方について学習を行い、その後、主食・主菜・副菜のそろったメニューを考えます。それを基に栄養計算されたものを本人に返却し、自分の考えた献立内容を確認しながら、必要な栄養素が満たされる献立になるように支援を行います。

リクエスト給食当日には保護者にも来ていただき、一緒に給食を食べてもらいます。また、献立の工夫点などについて、一組ずつ発表してもらいます。

生徒や保護者たちからは、「実際に献立を考える過程で、食材の組み合わせによって塩分量が高くなってしまおう」「食物繊維が不足してしまうなど、さまざまな気づきがあり、日常生活でも気をつけていこうという意識がもてた」などの意見が多く聞かれました。市では今後も、この活動を通して、家庭での食事内容を見直す機会を増やせるように支援を行っていきます。



【左から】
キムチごはん・鶏空揚げ・ポテトサラダ・わかめスープ

おおずの女性 ～輝いて今～

ともに考え、ともに実践する ～第18回男女共同参画社会づくり推進県民大会～

男女がお互いに人権を尊重し、個性と能力を發揮できる男女共同参画社会の実現を目指すことを目的に、第18回男女共同参画社会づくり推進県民大会が6月18日(火)、松山市のひめぎんホールで開催されました。

当日は、志村なるみ氏(ABC Cooking Studio創立者)を講師に招き「ビジネスを育てる女性の力ー夢・起業・経営ー」を演題として、基調講演が行われました。女性の視点を生かした経営方法などについてお話しいただき、参加したみなさんは真剣に耳を傾けていました。

その後、「女性の活躍は地域経済活性化の切り札ー“起業”と“企業”を考えるー」と題したパネルトークが行われ、男女共同参画における現在の問題点・改善点について、それぞれ討論がなされました。

大洲市からは、大洲市女性団体連絡協議会と第11

期おおず女性塾合わせて16人が参加し、それぞれ熱心にメモを取っていました。

第11期おおず女性塾では、今年度から2年間の活動がスタートします。随時入塾を受け付けていますので、ぜひご参加ください。

